

みずほCustomer Desk Report 2024/07/22号(As of 2024/07/19)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	157.49
TKY 9:00AM	157.17	1.0900	171.38	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	157.85	1.0901	171.85	1.2949	0.6704
SYD-NY Low	156.96	1.0876	170.99	1.2950	0.6709
NY 5:00 PM	157.50	1.0883	171.34	1.2901	0.6681
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	40,287.53	▲ 377.49	日本2年債	0.3345%	▲0.0055%
NASDAQ	17,726.94	▲ 144.28	日本10年債	1.0325%	0.0025%
S&P	5,505.00	▲ 39.59	米国2年債	4.5152%	0.0449%
日経平均	40,063.79	▲ 62.56	米国5年債	4.1691%	0.0525%
TOPIX	2,860.83	▲ 7.80	米国10年債	4.2419%	0.0408%
シカゴ日経先物	39,710.00	▲ 405.00	独10年債	2.4620%	0.0525%
ロンドンFT	8,155.72	▲ 49.17	英10年債	4.1225%	0.0595%
DAX	18,171.93	▲ 182.83	豪10年債	4.2950%	0.0500%
ハンセン指数	17,417.68	▲ 360.73	USDJPY 1M Vol	9.40%	▲0.26%
上海総合	2,982.31	5.18	USDJPY 3M Vol	9.07%	▲0.10%
NY金	2,399.10	▲ 57.30	USDJPY 6M Vol	9.28%	0.05%
WTI	78.64	▲ 2.66	USDJPY 1M 25RR	▲1.66%	Yen Call Over
CRB指数	280.36	▲ 5.24	EURJPY 3M Vol	8.46%	▲0.10%
ドルインデックス	104.40	0.22	EURJPY 6M Vol	8.78%	0.07%

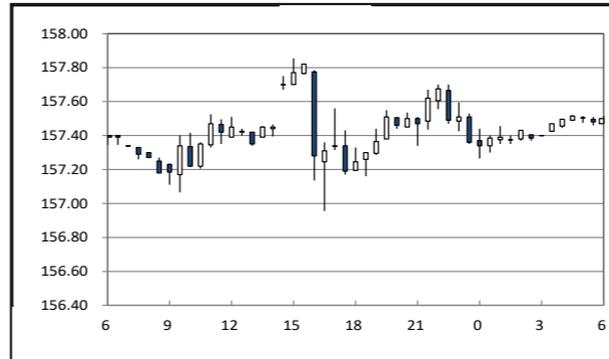
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月19日	08:30	日 全国CPI	6月 2.8%	2.9%
	08:30	日 全国コアCPI	6月 2.6%	2.7%
	08:30	日 全国コアコアCPI	6月 2.2%	2.2%
	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	6月 -1.5%/-0.8%	-0.5%/0.2%
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	6月 0.2%/-1.6%	0.1%/-1.6%
	21:30	加 小売売上高(前月比)	5月 -0.8%	-0.6%
	23:40	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	長期的傾向は依然として低中立金利を支持	

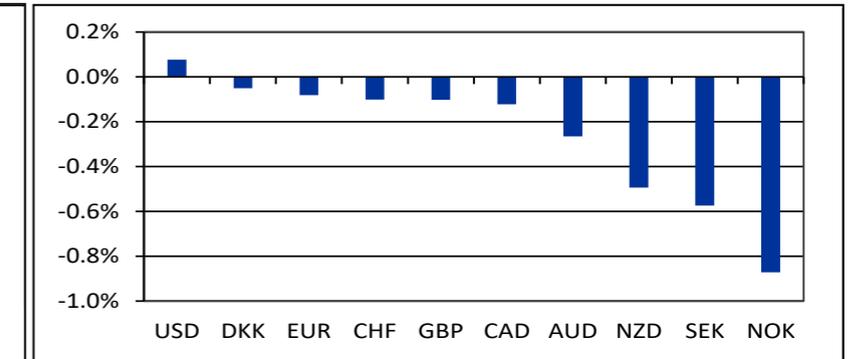
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月22日	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	6月 -0.09	0.18

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	156.50-158.00	1.0850-1.0950	170.50-172.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円は世界的なシステム障害のヘッドラインで一時的にリスクオフとなり、米国債などの安全資産に買いが入るとドル円も157円割れ下落する場面が見られた。ただし、安全保障に関わるものではないことが明らかになると直ぐに買い戻しが入り、157円台半ばまで反発した。本日のドル円は材料不足から動意に乏しい展開を予想する。FEDは先週末からフラックアウト期間に突入しており、さらに米国では週後半に米Q2GDP速報値や米6月PCEデフレーター等の重要指標を控えていることから方向感が出にくい。ただし、今朝方バイデン現米大統領が次期大統領選から撤退する意向であると報じられており、引き続き米政治ネタには注意したい。バイデン氏はハリス現副大統領を次期大統領候補として支持する方針であると述べていることから市場での混乱は限定的と予想しているが、米国市場の反応を見極めたい。

東京	東京時間のドル円は157.17レベルでオープン。実質五・十日ということで、朝方から実需勢のドル買いブームなどを背景にドル高円安基調になった。そうしたなかで、午後にかけても、この流れが継続し、一時157円80銭台まで上昇。その後も高値圏での推移となり、157.78レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、157.78レベルでオープン。世界的にIT障害が発生するも為替相場に大きな影響はなく、ドル円は方向感なく推移した。一時、介入警戒感からか急落する場面があるもすぐに反発し、結局157.49でNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は157円台半ばでスタート。五・十日に絡んだ買いが先行し、157.86まで上昇する。しかし、その後は米長期金利が低下する動きが上値を抑え、157.49でNYオープン。本日は米経済指標の結果発表が予定されていない中、午前中は海外時間に低下していた米金利が上昇する動きに追随し、157.70まで戻す。しかし、その後は伸び悩み、157.27まで反落。午後は週末を控え値幅が限定的の中、157.50付近を中心とした狭いレンジ推移が続き、157.50でクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.09台半ばでスタート。じり安で推移し、1.0894でNYオープン。本日は材料難の中、1.0880付近を挟んだ方向感乏しい推移が終始し続き、1.0883でクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。